


H27県民講師基本とスキルアップ講座を開催しました(第3回～4回)

自分の学びの成果を活かし、講師としての活動をこころざす方を対象に、講師に必要なコミュニケーション力や企画力、話し方等の基本とスキルを学ぶ6回講座。第3回～5回はゲスト講師を招いてのコラボ講義です。

第3、4回のゲスト講師は江北町地域おこし協力隊の村元奈津さん。
「企画書とチラシづくり」のノウハウを、2回に渡り伝授していただきました。

 ※第1,2回目の講座レポートは[コチラ](#).pdf(1750KB; PDFファイル)

講師デビューしたくなる！魔法のま・な・びレシピ(6回講座)

第3回、4回

メイン講師: 中村よもぎ直子さん(TENつなぎ代表)

ゲスト講師: 村元奈津さん(江北町地域おこし協力隊)

第3回 企画書レシピ (8/19)

■ 一番伝えたいことみつける・目的を意識して練り上げる



メイン講師: 中村よもぎ直子さん

○「これは！」と思ったノウハウやアイデアは自分流に取入れ、活用していこう！

前回までの学びのふりかえりから講座がスタート。1～2回目の講座は講師としてのスタートラインをつくる基礎的な学びの時間。この回から講師活動に必要なスキルを学んでいく時間です。

メイン講師の中村さんは、「村元さんの経験をそのまま教えていただく機会。その中から共感できるところ、参考にしたい手法はどんどん吸収して欲しい。」と受講者に声をかけられました。



ゲスト講師: 村元奈津さん

○まずは企画書の前準備！自分のやりたいことを書き出してみる

村元さんは日ごろから、やりたいことに関するアイデアや情報などをとにかく文字やイラストで書き出しているそうです。そして、アイデアが詰まったメモを片手にいろんな人から意見をもらっているとのこと。そうすることで、新たな気づきや手直しする部分が見つかり、内容がより明確になっていくと述べられました。

何かやりたい！という心のもやもやをカタチにしていく過程を教えてくださいました。



○村元さんが心がけている企画づくりの四か条>

- ・常に、誰に向けてやるのか？結果、どうなってほしい？を意識する
- ・企画を人に聞いてもらう
- ・小さく始めてみる
- ・遊び心を入れる

自分よがりにならないための企画づくりのコツや、参加者へのおもてなしの心も忘れずに、いきなり大きな試みよりも経験を重ねながら展開する方法がおすすめなど、ご自身が学ばれた教訓や具体的な活動事例を提示いただきながら、企画づくりの四か条をお話いただきました。

講座では、あらたな気づきやポイントを参考に一人ひとりの企画書づくりにも取り組みました。

・・・講座の感想・・・

具体的な例をたくさん紹介いただき、自分でも企画ができそうです／私自身の企画書をもう少し深く考えていきたいと思いました／自分のやりたいことの目的を忘れず、達成できるようにがんばります／アイデアが浮かんだらとにかくメモることを日々やってみようと思います（アンケートより抜粋）

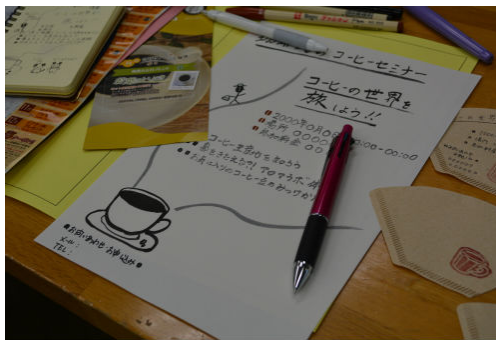
第4回 チラシレシピ（9/2）

■伝わるチラシをつくるコツ・届けるひろげる広報アレコレ



○チラシを届けたい相手はどんな人？からスタートしてみる

村元さんがチラシをつくる場合、企画内容の情報整理と、誰に向けてというターゲット確認の前準備を大事にしていると話されました。ターゲットが好きそうなデザインや集まりそうな場所を考えて、チラシサイズや形を決めているそうです。また、気になるチラシはストックしておき、自分がどこに良さを感じたのか考えて、それをチラシづくりの参考にしていると紹介されました。



○まずは手書きでざっくり！自由な表現で下書きしてみる

江北町地域おこし協力隊で毎月発行している情報誌「おへそ通信(136KB;)」は、ほぼ手書きで作成されています。筆ペン、クレヨン、絵の具など、道具を変えるだけでも様々な表現が自由にできるそう。現物をみせていただき、作り手である協力隊お二人のあたたかさまで伝わってくるようでした。手書きならではの良さを受講者も実感。

今回はパソコンでつくることにこだわらなくてもOK！ということで手書きでチラシづくりに挑戦しました。限られた時間の中でしたが、各テーブル、それぞれの個性が光るチラシが出来ていました。



○内容伝わる？必要な情報入ってる？をチェックしてもらおう

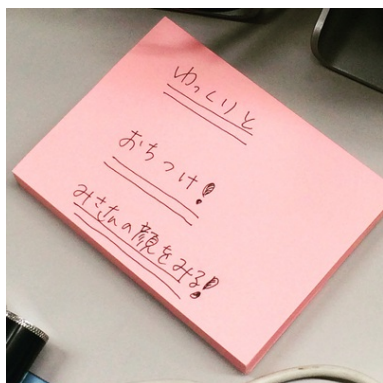
チラシづくりでも、誰かにわかりにくいところや不足しているところをチェックしてもらおうとより伝わるチラシに近づくと、指摘されたことはありがたいと受け止めて改善につなげようとお話されました。また、せっかくのチラシも来てほしい人に届かないと意味がありません。ターゲットが集まりそうな場所にチラシを置いてもらう広報活動も大切だと、ご自身の活動例を交えて教えていただきました。

講座では、チラシを紹介しあいながら意見交換も行いました。

・・・講座の感想・・・

チラシはいつも悩みながらつくっているのですが、アイデアをたくさん得ることができてよかった／つくったチラシを他の人にみせて意見をもらうのはとても参考になります／学びあうことっていいなと思いました／それぞれの力作をみて刺激を受けました／手書きの良さや筆ペンを使うことが好きになった(アンケートより抜粋)

ちょっとした話



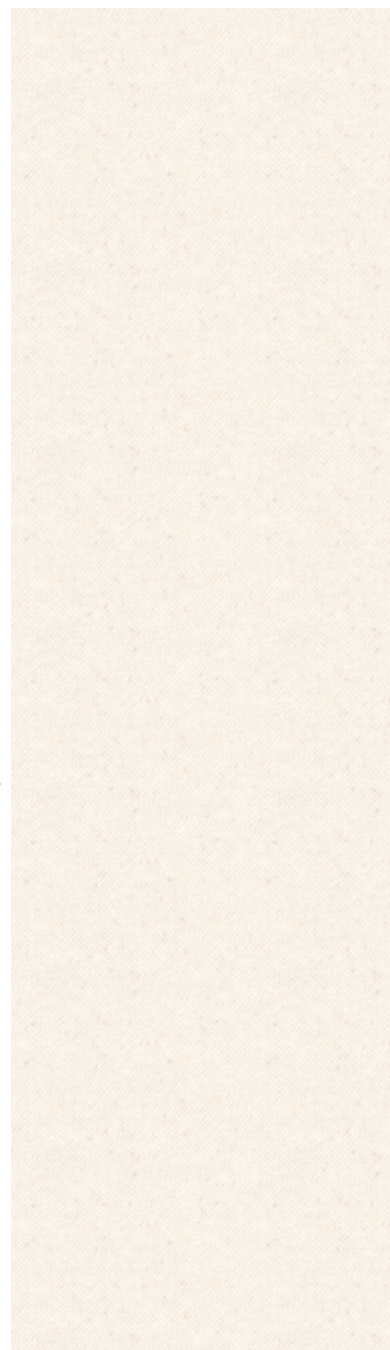
・・・講師の舞台裏・・・

♥魔法の言葉をつつけてみませんか♥

ゲスト講師として2回の講座を担当いただいた村元さん。左の写真は村元さんが手元に置かれていたメモ！(メイン講師の中村さんがしっかり撮影されていました◎)

中村さんは「講師でも人前に立つと緊張するものです。村元さんのように、ホッとさせる言葉をそばに置いて自分を落ち着かせる・・・、そんなちょっとした自分なりの工夫や技を、講師デビューの際、みなさんも取入れてみては！」と紹介されました。

次回「話し方レシピ」(9/16開催)のゲスト講師は(株)ケーブルワンアナウンス室長の小杉裕子さんです！





アバンス
佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)
TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

[アクセス・交通機関のご案内](#) ▶

[お問い合わせ/ご意見・ご要望](#) ▶

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで